

平成30年度 東京都立日比谷高等学校

推薦に基づく選抜

小論文

(注 意)

- 1 問題は、2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**50分**で、終わりは**午前9時40分**です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えをすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

図1は、世界5か国の年間平均降水量（*注1）を示したものである。図2、図3は、それらの国の水資源量（*注2）と、水資源量のうち実際に使用した水の量である水資源使用量を示したものである。図4、図5は、それらの国の国土面積と人口に関する資料である。また、図6は、安全な飲料水を手に入れられる（*注3）人の割合を示したものである。これらの図をもとに、次の問1と問2に答えなさい。

*注1 降水量: 単位面積あたりに降った雨が、どこにも去らずにその場所にたまったと考えた時の水の深さ。

*注2 水資源量: 降水量の総量（特定の面積あたりに降った水の総量）から蒸発散量（地面や水面からの蒸発量と植物の蒸散量を合わせた値）を引いた値。実際にはこの水の全てが利用できるわけではなく、各国の事情によって使用している量は大きく異なる。

*注3 安全な飲料水を手に入れられる: 自宅から30分以内の範囲で、汚染されていない飲み水が得られる状態をさす。

問1 図1～4から、他国と比較した日本の水資源量の特徴を説明したうえで、図5から、水資源量を国民1人あたりに換算した場合の現在の日本の特徴と、今後予測される変化について、200～240字で説明しなさい。

問2 地球上の水資源問題の特徴について、図1～4から読み取ることのできる側面と、図5から読み取ることのできる側面の両面から説明し、さらに図6も参考にして、安全な飲料水を手に入れられる人の割合が少ない国に対して日本としてできることについて、あなたの考えを320～360字で述べなさい。

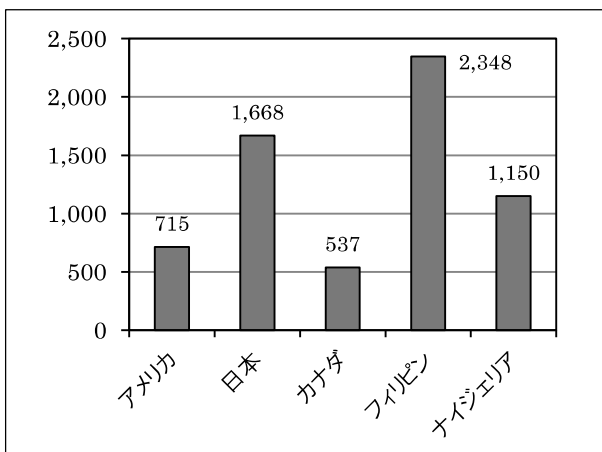


図1 世界5か国の年間平均降水量(単位: mm/年)

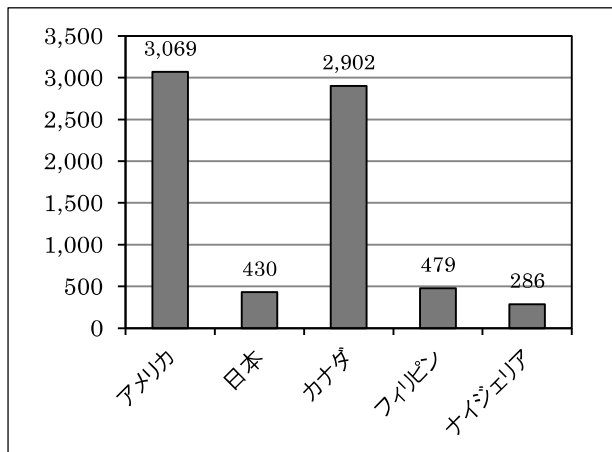


図2 世界5か国の水資源量(単位: km³/年)

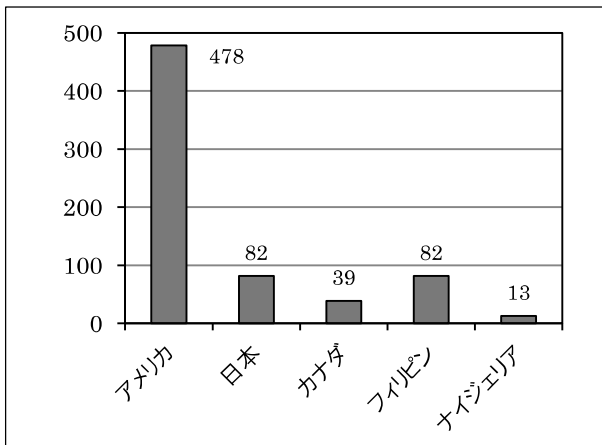


図3 世界5か国の水資源使用量(単位: km³/年)

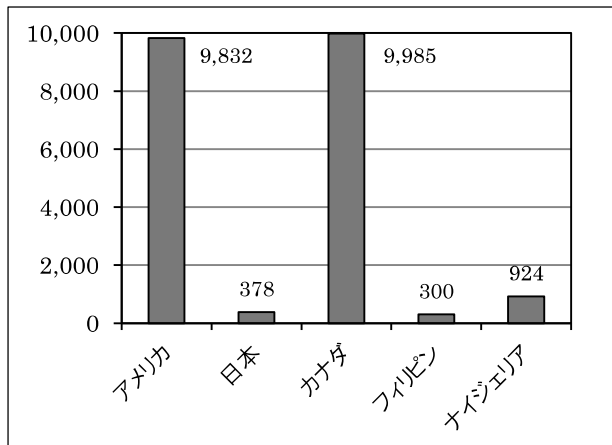


図4 世界5か国の国土面積(単位: 千 km²)

(図1～図4は、国土交通省「平成27年版 日本の水資源の現況」より作成)

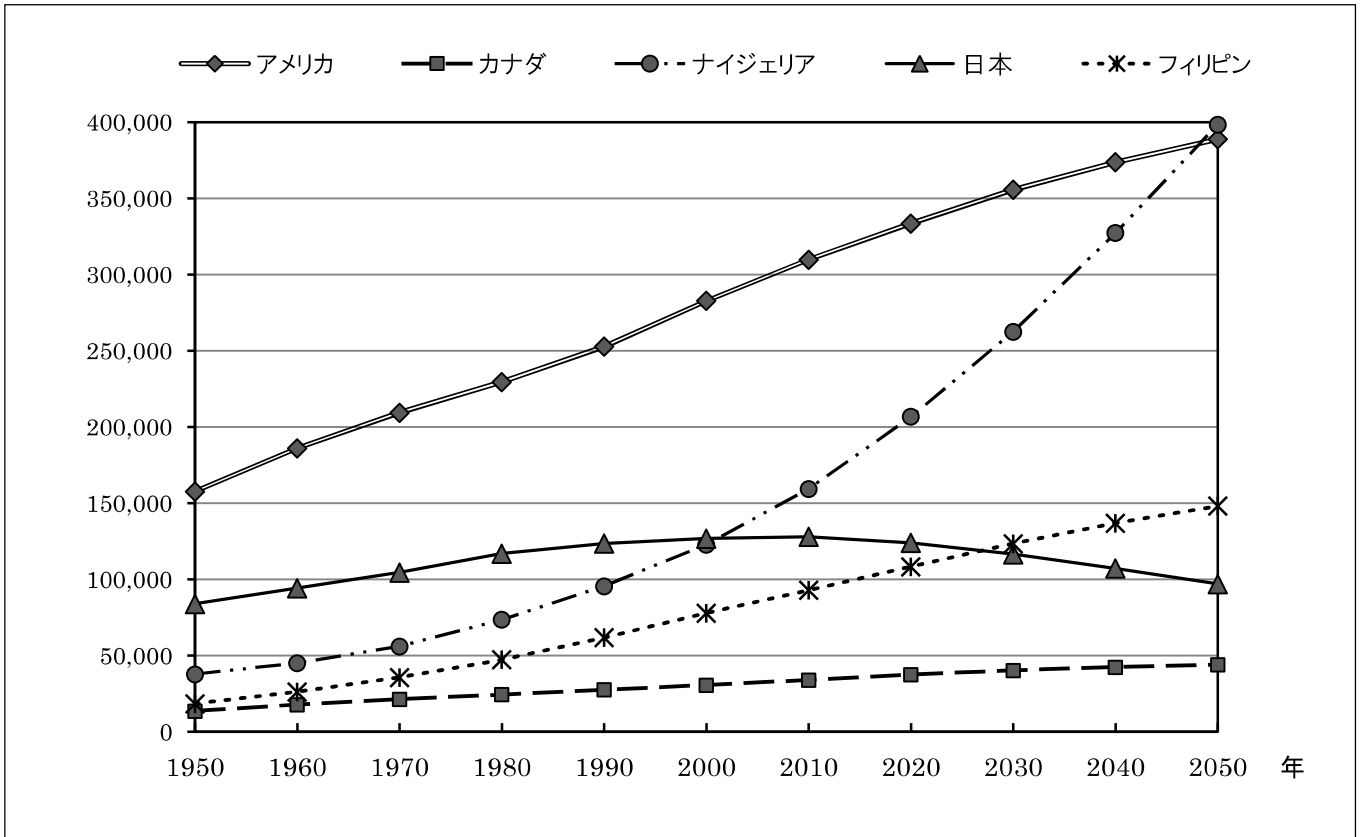


図5 世界5か国の人口の推移と予測(単位:千人)
(総務省「世界の統計 2017」より作成)

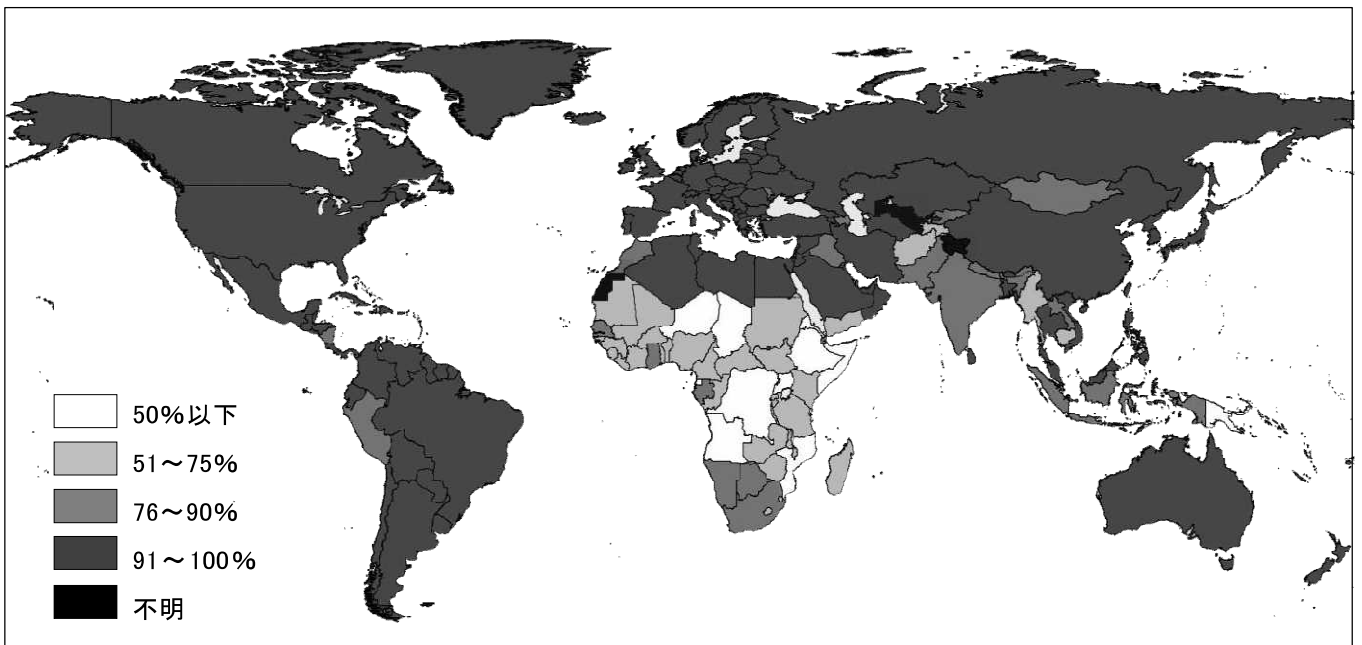


図6 安全な飲料水を手に入れられる人の割合
(UNICEF, WHO 「Progress on Drinking Water Sanitation and Hygiene 2017」より作成)